

こんげつ ひとこと  
~~~今月の一言~~~

ひっしやめい やまざき  
筆者名 山崎

こんにちは。このところ真夏のような日が続いていますが、みなさん体調は大丈夫ですか。4月に入職しました1号室の山崎です。利用者さんや先輩職員の方々から日々学び、楽しく働かせていただいていることに感謝しています。この場をお借りして、自己紹介させていただきます。出身は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」やパンダがいる動物園もある和歌山県です。実家は熊野古道のすぐそばで、高校卒業まで豊かな自然の中で過ごしました。絵を描くこと観ること、音楽を聴くことが好きです。最近、中学生の娘とアイドルグループの歌をよくきいています。

3月に都内のデパートで開催された「しんじゆくQuality~ハンドメイドマーケット~」に行ってきました。区内の事業所が連携して地域との繋がりを大切にしている素晴らし取り組みだと思えます。売り場では、作業所でつくられた商品の質の高さを目の当たりにし、もちろん福作の商品（マフィン、素敵な布巾やアクセサリなど）も購入しました。それらをお世話になった方々へプレゼントしたところ、喜んでくれましたし、福作のことを知ってもらい良い機会になりました。

作業所ではこれらの商品の他に、各種チラシや雑誌の付録の袋詰めなどの受注の仕事もしていて、みなさん毎日、一生懸命に働いています。笑顔で挨拶を交わし、仲間と協力して納期を守り、手助けを必要とする人にさりげなくサポートする利用者さんたちの姿に私も励まされています。

一見単調に見える作業であっても、雑誌の付録を手にした子どもがワクワクしながら親子で一緒に組み立てるひととき、パン工場のパンやマフィンを食べた元気がなったり、そんな光景を想像すると、福作の仕事は「だれかを笑顔に」していると感じます。

デパートで売れる商品をつくること、企業様から受注のお仕事をいただけることも、みなさんが誠実に働いてきて信頼されているということであり、素晴らしいことです。私も一緒に働けることをうれしく思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。